

# スマート農業技術（農業用ドローン）の円滑な推進支援確立（網走農業改良普及センター美幌支所）

## 背景

### 【美幌町の概要】

○耕地面積10,700haで、畑作経営を中心に、畜産・園芸・水稻等多様な経営が行われている

○規模拡大や農業者の減少・高齢化に伴い、農作業の省力化が求められており、コントラクターによる作業受委託が進められているほか、労働力不足に対応するため令和元年に「美幌町農業ICT推進協議会」が設立されている

### 【地域の課題】

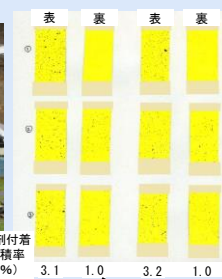
○急速にスマート農業の導入が進んでいるが、先導的実践者と導入初心者が混在している

○現在導入事例は少ないが、今後増加が見込まれる「農業用ドローン」について、効果検証が必要となっている

## 普及活動内容

### ○導入に係る課題の確認

ドローンによる、秋まき小麦雪腐病に対する薬剤散布試験を実施し、特性等を調査した



感水紙による散布薬剤の付着状況等を調査

### ○情報交換会の実施

農業者、関係機関等に試験結果を情報提供するとともに、意見交換を行った

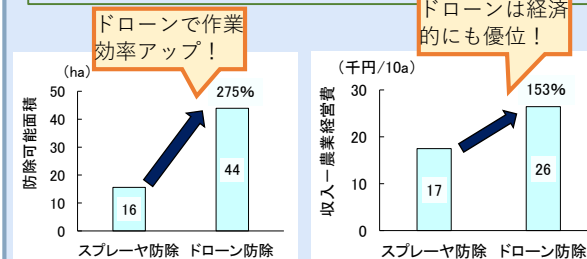


## 普及の成果

### 【具体的な成果】

○試験実施により、ドローン防除の特徴やメリットを確認

ドローン防除の方が作業効率・経済性が高まることを確認!!



雪腐病防除期間中の防除可能面積

○ドローンとスプレーヤ、どちらを選択するか、ポイントを確認

経営面積や作付品目・ほ場の位置条件・防除時のほ場条件等、ドローンの優位性が発揮される条件を整理!!

### 【成果のポイント】

- 新規にドローンを導入した農業者がいたため、協力が得やすかった
- 農業者、関係機関とも関心が高く今後に向けて活発な情報交換や、ニーズの掘り起こしができた